平成５年度 BELCA賞 表彰式

会長挨拶

(社)建築・設備維持保全推進協会会長 髙木丈太郎

会長の髙木でございます。表彰式の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙のところ受賞者関係者並びに審査委員の方々には、ご出席を賜り、誠にありがとうございました。

さて、平成５年度 BELCA 賞は第３回を数え、今回も全国から優秀な作品をご応募いただきました。これも建物所有者を始めとする関係者の、本賞の趣旨についての深いご理解の賜物と存じます。

また、審査に当たりましては、審査委員の方々が大変ご苦心されたとのお話を伺っており、委員の方々には厚く御礼申し上げます。

表彰されました建築物が、今後も、我が国の良質な社会ストックの形成の範となるものと確信しております。受賞者の皆様、心からお慶び申し上げます。

審査委員長挨拶

審査委員会委員長 岸谷 孝一

BELCA 賞は、改修によって画期的な活性化を図った優秀な建築物を表彰するベストリフォーム・ビルディング部門と、長年にわたり継続的に維持保全を実施している優秀な建築物を表彰するロングライフ・ビルディング部門よりなり、我が国に於ける良好な建築ストック形成に寄与することを目的として創設されました。

今回の公募により応募されました作品は、両部門ともに、全国から優秀で、かつ、建築に係わる者として魅力的なものを多く確認することができ

ました。

審査は、書類選考による第1次審査、現地審査による第2次審査ともに困難を極めましたが、審査委員全員の合議により、これから発表するベストリフォーム・ビルディング部門3件、ロングライフ・ビルディング部門5件を、平成5年度の表彰作品として選出しました。

今回、残念ながら入選からもれました作品の中にも優秀なものが多くあり、建物に対する所有者の愛着、これらを支える創造豊かな設計思想、高度な施工技術、そして、管理者の士気の高さには改めて敬服いたしました。

また、現地審査に於いてご協力していただきました受審者の方々には、この席をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

平成5年度 BELCA賞　BRB専門部会審査総評

BRB専門部会主査　守屋　秀夫

審査に先立ち、評価基準としては昨年度までの評価基準を今年度も一応の目安とするが、この他にも気がついた点があれば適宜基準を修正するものとして、審査を進めることを申し合わせた。

つぎに、提出された書類とスライドによって第1次審査を行い、第2次審査対象物件を選んで、現地での確認を数人ずつの委員で行うこととした。第2次審査は現地視察の報告をもとに討議を行って、表彰候補3件を選んだ。

今年度授賞の対象となった3件は、それぞれ違った特徴をもっている点が注目される。すなわち『南座』は、昭和4年に竣工した歌舞伎劇場を、意匠的には昔の面影を残しながら、舞台機構や設備の面では最新の技術に対応したかたちで再生させたもので、LLB部門としても恥ずかしくない、オーソドックスな改修を行ったものである。また、『UCCコーヒー博物館』は、博覧会のパビリオンとして建設され、博覧会終了後もそのまま博物館として引き継いできたものを、外装を含めて大幅に改修したものである。外郭を一新したので古い部分が少ないようにも見受けられるが、展示など博物館として中心となる部分は、博覧会の当時のものを相当よく残している。外見は変えても中身は変えないできた点が、リフォームの一つのあり方として評価された。これに対して

『クリエーティブ・スペース・赤れんが』は、廃墟に近いかたちで見捨てられていたれんが造の図書館書庫を、市民の声によって集会施設によみがえらせるとともに、市の中心部に新しい活き活きとしたスポットを誕生させたもので、たんなる建築保存というより、山口市民の文化に対する心意気を感じさせる点が特筆される。

このようなことから、結果的には当初の評価基準がそのまま適用されたとは言いがたい点もないではないが、BRB 部門の主旨に照らせば、このようなバリエーションも許されるものと考えている。ベストリフォームの評価の視点に新しい角度が加えられたことが、今回の収穫である。

〈評価項目〉

1　良好な建築物の形成に寄与するものである為に、次項に合致していること

① 古い建物を十分に生かしているか
② 改修の結果、現在にふさわしい機能をもった建物となっていること
③ 改修の結果、デザイン的に優れたものになっていること
④ 改修の結果、機能的に著しく不都合な点のないこと
⑤ 改修の結果、周囲環境に調和していること

2　次のいずれかの項目に優れた工夫が見られるか、これらに準ずる成果があること

① 新旧部分のデザインの調和
② 改築とせず、改修としたことの積極的意味
③ 著しい環境の改善
④ 維持管理のしやすさ
⑤ 施工法

平成 5 年度 BELCA 賞　LLB 専門部会審査総評

LLB 専門部会主査　三井所清典

審査に当たり、評価基準の確認を行ったが、原則として昨年と同様とすることが了承された。

つぎに、提出された書類とスライド等によって第 1 次審査を行い、第 2 次審査対象物件を選んだ。第 2 次審査は現地審査で、原則として全審査員が現地に赴き審査した。現地では、経年した建物の維持保全の状況と建物を管理する人々に直接接したが、その人々の建物に対する誇りや愛情、維持保全に対する誠意を強く感じることが出来た。

現地審査終了後、再び東京で審査員全員出席の審査会を開いた。各物件ごとに慎重に論評した上で、今回は 5 件が BELCA 賞 LLB 部門の授賞候補たりうると判断され、推薦することとした。

今年度の授賞の対象となった 5 件はそれぞれ

特徴がある。『近三ビルヂング』は村野藤吾の設計で、昭和6年に完成している。今日まで大規模な増築やファサードの改修が行われているが、当初の建築的価値をよく維持している。『国立劇場』は、正倉院を思わせる校倉造りの外観が特徴の建築で、その外壁の補修や内部の改装など適切に行われており、建築の保全計画や資金計画の面でも公共建築のモデル的な建物といえる。『三愛ドリームセンター』は、銀座4丁目の角地という最も象徴的な商業地に立つ建物で、30年間光の塔として人々に親しまれてきたが、これからも商業建築の象徴であり続けるだろう。『日本二十六聖人記念館』は、建設以来30年余、この施設の建立時の理念に基づいて守り続けている。外壁の格子の補修を除いて、大規模な改修を行うことなく、職員や信者の献身的な日常の奉仕によって維持されている。今後もこのすぐれた建築が、いつまでも人々の心をうつ存在であり続けることが願われる。『三井本館』は、昭和4年アメリカ人の設計によって完成した石造様式を踏まえた建築で、内外とも重厚さの中にも華麗さが保持されている。設備の更新もよくなされている。例えば、ボイラーなどエネルギー施設は同ブロック内の別建物に移されて集中管理されるなど、時代に対応した改修も行われている。

〈評価項目〉

1　評価の視点

① 良好な建築ストックとして、デザイン及び構造上の価値があるのか

② 建物の維持管理の状況（体制と対策）が良好であるのか

③ 建物の維持管理に対して設計上の配慮がなされているか。また、それがロングライフに役立っているのか

④ 地域に根づいた施設になっているのか

2　具体的な評価項目

① 良い建築であること（改修後もデザインクオリティーが失われていないこと）

② 基本的に建てられた状況で現在も使われていること

③ このまま更に長期にわたって現状維持の状況で使う意志がオーナー側にあること

④ テナントや居住者が当該建物に満足していること（使い難くても満足している場合もある）

⑤ ビル管理体制の面で建物の保全に対する努力が大いに認められること（管理面がずさんでないこと。将来、保全状況の悪化が予想されないこと）

⑥ 設備・構造上に重大な欠陥が認められないこと

⑦ 地震・火災に対して安全な対策が講じられていること

⑧ 地域の人々に親しまれていること

⑨ 地域の人々の誇りになっていること

平成5年度　BELCA賞　表彰作品

○ベストリフォーム・ビルディング部門（BRB）3件

表彰作品	竣工/改修年	用途　改修前/後	所在地	所有者	設計者	施工者
クリエーティブ・スペース・赤れんが	1918/1992	県立図書館書庫/市民ホール	山口市中河原町	山口市	今井徹也建築設計事務所 山口市建築課	徳田建設工業㈱ ㈱星電業社 ㈱蔵田建設工業所
南座	1929/1991	劇場	京都市東山区	松竹㈱	杉山隆建築設計事務所	㈱大林組
UCCコーヒー博物館	1981/1987	博覧会パビリオン/博物館	神戸市中央区	UCC上島珈琲㈱	㈱竹中工務店	㈱竹中工務店

○ロングライフ・ビルディング部門（LLB）5件

表彰作品名	竣工年	用途	所在地	所有者	設計者	施工者	維持管理者
近三ビルヂング	1931	事務所ビル	中央区日本橋	近三商事㈱	村野　藤吾	㈱竹中工務店 三機工業㈱ ㈱吉成電気工業所	近三商事㈱
国立劇場	1966	劇場	千代田区隼町	㈱日本芸術文化振興会	岩本　博行 建設省	㈱竹中工務店	所有者と同じ
三愛ドリームセンター	1963	店舗ビル	中央区銀座	㈱三愛	㈱日建設計	㈱竹中工務店	㈱三愛
日本二十六聖人記念館	1962	聖堂・資料館	長崎県長崎市	宗教法人 カトリック・イエズス会	今井　兼次	大成建設㈱	結城了吾
三井本館	1929	事務所ビル	中央区日本橋	三井不動産㈱	トローブリッジ・リビングストーン社	ジェームス・スチュアート社 清水建設㈱	三井不動産㈱

（各物件の審査評は，『BELCA NEWS』5月号をご参照ください。）

審査委員会の構成及び委員

委員長　岸谷孝一（日本大学理工学部建築学科教授）

特別委員　梅野捷一郎（建設省大臣官房審議官）

谷口哲彦（BELCA専務理事）

BRB　◎守屋秀夫（千葉大学工学部建築学科教授）

専門部会　○武者英二（法政大学工学部建築学科教授）

委員　岡野節壽（日本電設工業㈱常務取締役大阪支店長）

加藤晃（㈱日建設計理事）

清水重男（三菱地所㈱第一建築部長）

曽根幸一（㈱曽根幸一・環境設計研究所代表取締役）

古田敏雄（清水建設㈱常務取締役設計本部長）

降幡廣信（㈱降幡建築設計事務所代表取締役所長）

宮恭（日本メックス㈱代表取締役社長）

LLB　◎三井所清典（芝浦工業大学建築学科教授）

専門部会　○太田邦夫（東洋大学工学部建築学科教授）

委員　石福昭（早稲田大学理工学部建築学科教授）

猪股亀三郎（東山興業㈱代表取締役）

小倉善明（㈱日建設計常務取締役）

津野治男（㈱東急コミュニティー専務取締役）

成田好将（三機工業㈱取締役設計本部長）

村尾成文（㈱日本設計取締役副社長）

村松映一（㈱竹中工務店総本店取締役設計本部長）

◎：部会主査

○：部会副主査